



❁ 2学期も残すところあと1か月

皆さんこんにちは。肌を感じられる風も冷たくなってきており、少しずつ冬の訪れを感じる頃になりました。大埔校では学年レクや校外学習、調理実習などコロナ禍の中でこれまで制限されてきていた活動ができるようになり、子どもたちがより一層充実した学校生活を送ることができています。さて、1年の中で一番長い2学期は、学習や行事を通して一人ひとりの力や学級集団としての力も大きく成長するチャンスではありますが、徐々に難しくなっていく学習に不安を抱える子どもたちが増える時期でもあります。この頃、笑顔教室へ「勉強が難しくなってきた不安だ。」と相談に来る子どもたちが増えてきています。子どもたちが相談をしてくれるときには、「教えてくれてありがとう、不安な気持ちがよく伝わったよ。一緒に考えていこうね。」とまずは伝えてくれたことに対してほめることを心がけています。不安な気持ちを共有する勇気は子どもたちが社会に出てからも必ず役に立つと考えているからです。相手に自分の気持ちを伝えるためにはまず自分が何に悩んでいるのか、何が不安であるかなどを客観的に整理すると受け止めやすくなります。そこで、今月は自分のことを客観的にとらえる「メタ認知」についてご紹介します。

メタ認知 -自分のことを客観的にとらえる-



メタ認知とは

メタ認知の「メタ」とは「高次」を指し、悩みや課題を一段高いところから把握する能力「客観的に自己評価する力」のことです。メタ認知の視点があると、自分の行動パターンを深く振り返って、違う方策を考えやすくなります。また、不安な気持ちをコントロールして冷静に対応できるようになります。



▼Learning BOX HP「eラーニングでメタ認知を支援する方法」より引用

メタ認知を鍛え方 例

子ども自身	子どもと関わる人
<ul style="list-style-type: none"> ◆学習や日々の出来事のふりかえりを行う ◆スケジュール帳などを活用し、学習の計画・修正を行う(例:今週は何をどのくらい勉強したかなど) ◆「自分は〇〇があって落ち込んでいる」など客観的に自分の感情を整理する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆努力や成長を具体的に褒める △「全問正解ですごいね。」 ○「直しを頑張ったから今度は解けたね。」 ◆失敗したら叱るより分析 ◆「聞いてみよう。」など他人の意見を聞くよう促す



今月の笑顔テーマ

11月の笑顔テーマは読書の秋にちなんで「好きな本・まんが」でした。日本の本や漫画を香港で購入している子もいれば、中には日本から紙媒体で取り寄せていたり、Kindle など電子書籍で本を読んでいる子もいました😊



